

目標達成計画

作成日: 平成26年2月7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	日常の中で、事業所の理念を意識して業務を実践するまでに至っていない。	事業所の理念を意識し、それを実践に繋げる。	各職員が名札ケース内に収めている、理念が記載されたカードを、就業前等の時間を使い読む機会を増やすよう指導する。 理念が何を目指しているのか、スタッフで話し合う機会を増やす。	12ヶ月
2	18 66	認知症の特性を理解し、それに沿ったケアの展開が不十分。	認知症の特性を理解し、それを意識して日常のケアを実践する。	認知症に関する基礎的な勉強会を実施したり、外部の研修への積極的な参加を促す。 日常の中にある事例を採り上げ、それを基にケアを考える機会を増やす。	12ヶ月
3	26	介護計画作成時のモニタリングやアセスメントが不十分。	具体性のある介護計画の作成が出来る。	アセスメントやモニタリングを実施するスタッフにより内容に偏りが出ない様に、ある程度検討すべき項目を吟味し、業務の平準化につなげる。	12ヶ月
4	2	事業所(入居者・職員)と地域との交流が少ない。	地域と積極的に関わり合いを持ち、地域に貢献できる事業所となる。	入居者の日常的な散歩や買い物を、今後も継続して実施する。 地域行事に積極的に参加し、まずは職員が地域の方々との交流に心掛ける。	12ヶ月
5	35	大規模災害等における、電力会社からの供給停止時の対応が未確定。	電力供給停止時にも対応できる方策が達成できる。	自家発電の充実等、法人一体となった対策を検討する。 法人内の災害時ワーキングチームの体制を更に充実し、他地域にある施設との連携を強化する。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。